

YMCAせとうち

WINTER CAMP

REPORT



ハチ高原スキーキャンプB

と き：2018年1月6日～8日

と ころ：鉢伏高原スキー場／ホテルかねいちや



2018年を迎え、54人のこどもたちと16人のリーダーでスキーキャンプを行いました。鉢伏高原は真っ白な雪原が広がっています。とても好環境の中、スキーだけでなく、雪遊びも思う存分満喫することができました。

はじめてスキーをするおともだちは、スキーブーツを履いて移動をするだけでも大仕事。なんとか頑張ってゲレンデに辿り着いても、板を履き、坂道を滑ってみると「うわー！」と言いながら転けてしまいます。しかし、何度も立ち上がり、繰り返し滑っていると「リーダー、見て見て！」と、いつの間にか滑れるようになっていました。最後のスキー講習では全長約3キロの雪山を滑り降りることが出来るほど上達しました。

経験者のおともだちは、コーチやリーダーと一緒に様々なコースを滑りに行きました。緩斜面だけでなく、少し急な斜面にも挑戦！「もう少しで足が揃いそうなんだけどなあ」「さっきのすこかったね」など、学年や性別を越え、グループのおともだちとスキーを満喫することができたようです。

最後になりましたが、3日間ありがとうございました。来年もぜひリーダーたちと一緒にスキーキャンプに行きましょう！

プログラムチーフ：ベルリーダー（長岡志保）

『キャンプはリーダーが作るのではなく、みんなも一緒に作るんだよ』と話をしました。キャンプを作っていくには、『どうすれば、みんなが楽しく過ごせるか』を考えないといけません。こどもたちは3日間、いろいろな形でそれを示してくれました。

ある女の子はスキーのグループで転んだおともだちがいたときに『大丈夫？』と声をかけ、また上手く滑れたときには『すごいね～！上手じゃん！！』と声をかけています。また、食事の際、小さい学年のおともだちの配膳を手伝ってくれる男の子もいました。それぞれのおともだちに『なんで、そんな風に優しくできるの？』と問うてみると、『小さい頃からキャンプに行っていて、リーダーたちがしてくれた風にしてる』とのこと。

YMCAは、昨年10月から『みつかる つながる よくなっていく』という新しいブランドスローガンを掲げ活動を行っています。このキャンプ中にも、ふとした瞬間にこどもたちのつながりやさりげない優しさを見せてもらえました。また、ぜひともキャンプにお越しください。新しいつながりや笑顔に出会えることを楽しみにしています。

キャンプディレクター：有安 紀